

※以下の資料(概要版/詳細版)は、**脱炭素社会の実現**にむけて、京都府が取り組んでいる施策についてまとめたものです。
こちらの資料もご参考として御覧いただき、質問にお答えください。

- Q1.1 必須設定 回答必須
- Q1.2 必須設定 回答必須
- Q1.3 必須設定 回答必須
- Q1.4 必須設定 回答必須

Q1

2050年までに**脱炭素社会**を実現するため、京都府では以下の施策【1】から【4】を推進しています。

これらの施策の取組について、あなたの考えに最も近いものを1つずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

施策を知らず	施策を知っているが、評価しない	施策を知っているが、評価する	施策を知っているが、あまり評価しない	施策を知っているが、積極的に評価する
1	2	3	4	5

【施策1】

省エネルギーの取組等の加速化

例えば

- 1 省エネ家電買替 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
- 住宅の断熱化
- 食材の地産地消
- 自動車利用からの転換
- 再配達削減等

- 2 【施策2】 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
- 再生可能エネルギー等の導入推進

例えば

- ・ 太陽光パネルの設置
- ・ 水素エネルギーの需要拡大等

【施策3】

フロン対策

- 3 例えば 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
- 地球温暖化やオゾン層破壊の原因となるフロン類を使わないノンフロン機器を利用する等

【施策4】

CO2を吸収する森林の拡大や保全・整備等の取組

- 4 例えば 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
- ・ 森林の適正管理
- ・ 木材の利用促進等

次へ

0 50 100(%)

Q2.1	必須設定	回答必須
Q2.2	必須設定	回答必須
	回答制御	Q2.1 ≠ Q2.2 に該当しない場合はアラートを表示
Q2.3	必須設定	回答必須
	回答制御	Q2.1 ≠ Q2.3 かつ Q2.2 ≠ Q2.3 に該当しない場合はアラートを表示
Q2.4	必須設定	回答必須
	回答制御	Q2.1 ≠ Q2.4 かつ Q2.2 ≠ Q2.4 かつ Q2.3 ≠ Q2.4 に該当しない場合はアラートを表示
Q2.5	必須設定	回答必須
	回答制御	Q2.1 ≠ Q2.5 かつ Q2.2 ≠ Q2.5 かつ Q2.3 ≠ Q2.5 かつ Q2.4 ≠ Q2.5 に該当しない場合はアラートを表示
Q2.6	必須設定	回答必須
	回答制御	Q2.1 ≠ Q2.6 かつ Q2.2 ≠ Q2.6 かつ Q2.3 ≠ Q2.6 かつ Q2.4 ≠ Q2.6 かつ Q2.5 ≠ Q2.6 に該当しない場合はアラートを表示

Q2

以下の①～⑥の具体的な取組のうち、脱炭素の実現に向けて、特に取組が進んだと感じるもの、進んでいないと感じるものを、第1位から第3位としてそれぞれ1つずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

	取組みが進んだもの			取組みが進んでいないもの		
	1	2	3	4	5	6
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
①家庭や業務部門における温室効果ガス排出削減に向けた、高効率な省エネ家電への買換えや、建物の断熱化や太陽光パネル設置	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○
②AI(人工知能)等の技術導入による生産性・エネルギー効率の向上や省エネ機器への設備投資等、企業における取組	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○
③府内産の食材や木材を積極的に消費する地産地消の取組	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○
④自動車利用から公共交通や自転車、徒歩利用への転換(モーダルシフト)やカーシェアリング等の移動手段の共有(ムーブシェア)、エコドライブ(環境にやさしい運転)、ガソリン車から電気自動車等の次世代自動車への買換えといった取組	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○
⑤宅配ボックスの活用や宅配便の受取方法の多様化等による再配達削減	5 ○	5 ○	5 ○	5 ○	5 ○	5 ○
⑥効果的・効率的な省エネサービスの導入や環境に優しい商品を取り扱う企業の成長	6 ○	6 ○	6 ○	6 ○	6 ○	6 ○

⑦風力やバイオマス、小水力等の再生可能エネルギーの導入や熱利用の促進	7 ○	7 ○	7 ○	7 ○	7 ○	7 ○
⑧既存の再生可能エネルギー設備の適切な保守点検や修繕等による、長期安定的活用	8 ○	8 ○	8 ○	8 ○	8 ○	8 ○
⑨水素エネルギーに対する正しい理解促進と府内における需要拡大	9 ○	9 ○	9 ○	9 ○	9 ○	9 ○
⑩地球温暖化やオゾン層破壊の原因となるフロン類を使わないノンフロン型機器(冷蔵庫等)の活用促進	10 ○	10 ○	10 ○	10 ○	10 ○	10 ○
⑪適切に管理された森林の拡大や木材利用促進等により、CO2を吸収する森林の拡大や保全・整備等の促進	11 ○	11 ○	11 ○	11 ○	11 ○	11 ○

次へ

0 50 100(%)

Q3		0	50	100(%)
- カテゴリ 1.FA	必須設定 回答必須			
	入力文字数 100文字まで			
- カテゴリ 2.FA	必須設定 無回答可			
	入力文字数 100文字まで			
- カテゴリ 3.FA	必須設定 無回答可			
	入力文字数 100文字まで			
- カテゴリ 4.FA	必須設定 回答必須			
	入力文字数 100文字まで			
- カテゴリ 5.FA	必須設定 無回答可			
	入力文字数 100文字まで			
- カテゴリ 6.FA	必須設定 無回答可			
	入力文字数 100文字まで			

Q3

前問でお選びいただいた具体的な取り組みについて、進んでいると感じた理由、進んでいないと感じた理由を、どのようなことでも結構ですので具体的にご記入ください。

【取り組みが進んでいると感じたもの】

1位:○○○(Q2_1回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいると感じたもの】

2位:○○○(Q2_2回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいると感じたもの】

3位:○○○(Q2_3回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいないと感じたもの】

1位:○○○(Q2_4回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいないと感じたもの】

2位:○○○(Q2_5回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいないと感じたもの】

3位:○○○(Q2_6回答テキスト再掲)

- Q4.1 **必須設定** 回答必須
- Q4.2 **必須設定** 回答必須
回答制御 Q4.1 ≠ Q4.2 に該当しない場合はアラートを表示
- Q4.3 **必須設定** 回答必須
回答制御 Q4.1 ≠ Q4.3 かつ Q4.2 ≠ Q4.3 に該当しない場合はアラートを表示

前問でご覧いただいた11項目の取り組みのほかに、重要だと思う施策がありましたら、どのようなことでも結構ですので具体的にご記入ください。

次へ

0 50 100(%)

Q4

以下の①～⑪の具体的取組のうち、脱炭素社会を実現するためにあなたが特に重要だと考えるものを第1位から第3位としてそれぞれ1つずつお選びください。
(それぞれひとつずつ)

	1	2	3
	1	2	3
	位	位	位

① 家庭や業務部門における温室効果ガス排出削減に向けた、高効率な 省エネ家電への買換え や、 建物の断熱化 や 太陽光パネル設置	1〇	1〇	1〇
② AI(人工知能)等の技術導入による生産性・エネルギー効率の向上や 省エネ機器への設備投資 等、企業における取組	2〇	2〇	2〇
③ 府内産の食材や木材を積極的に消費する 地産地消の取組	3〇	3〇	3〇
④ 自動車利用から公共交通や自転車、徒歩利用への転換(モーダルシフト)や カーシェアリング 等の移動手段の共有(ムーブシェア)、 エコドライブ (環境にやさしい運転)、ガソリン車から電気自動車等の 次世代自動車への買換え といった取組	4〇	4〇	4〇
⑤ 宅配ボックスの活用や宅配便の受取方法の多様化等による 再配達削減	5〇	5〇	5〇
⑥ 効果的・効率的な省エネサービスの導入や 環境に優しい商品を取り扱う企業の成長	6〇	6〇	6〇
⑦ 風力やバイオマス、小水力等の 再生可能エネルギーの導入 や 熱利用の促進	7〇	7〇	7〇
⑧ 既存の 再生可能エネルギー設備 の適切な保守点検や修繕等による、 長期安定的活用	8〇	8〇	8〇
⑨ 水素エネルギー に対する正しい 理解促進 と府内における需要拡大	9〇	9〇	9〇
⑩ 地球温暖化やオゾン層破壊の原因となるフロン類を使わない ノンフロン型機器(冷蔵庫等)の利用促進	10	10	10
⑪ 適切に管理された森林の拡大や木材利用促進等により、 CO2を吸収する森林の拡大 や保全・整備等の促進	10	10	10

- Q5 - カテゴリ 1.FA
- 必須設定** 回答必須
- 入力文字数** 400文字まで

Q5

※以下の資料(概要版/詳細版)は、**循環型社会の実現**にむけて、京都府が取り組んでいる施策についてまとめたものです。
 こちらの資料もご参考として御覧いただき、質問にお答えください。

- Q6.1 必須設定 回答必須
- Q6.2 必須設定 回答必須
- Q6.3 必須設定 回答必須
- Q6.4 必須設定 回答必須
- Q6.5 必須設定 回答必須
- Q6.6 必須設定 回答必須

Q6
 廃棄物の発生抑制(Reduce)・再使用(Reuse)(以下「2R」という。)等により**循環型社会**を実現するため、京都府では以下の施策【1】から【6】を推進しています。
 これらの施策の取組について、あなたの考えに最も近いものを1つずつお選びください。
 (それぞれひとつずつ)

施 京 都 府 の 取 組 を と て も 評 価 す る	施 京 都 府 の 取 組 を や や 評 価 す る	施 京 都 府 の 取 組 を あ ま り 評 価 し な い	施 京 都 府 の 取 組 は 全 く 評 価 し な い	施 京 都 府 の 取 組 は 全 く 評 価 し な い	施 京 都 府 の 取 組 は 全 く 評 価 し な い
---	--	--	---	---	---

- 1 【施策1】
産業廃棄物の2R(発生抑制・再利用)の推進
例えば
・ 新しい技術開発
・ 民泊やライドシェアなどの促進 等 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
- 2 【施策2】
消費者の意識啓発 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○

- 例えば
- ・ もったいない精神の普及
 - ・ 環境価値の高い商品の優先購入 等

- 3 【施策3】
プラスチックごみの削減 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
 例えば
 ・ レジ袋等の使い捨てプラスチックの削減 等
- 4 【施策4】
食品ロスの削減 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
 例えば
 ・ 買物時に「買いすぎない」、料理を作る際「作りすぎない」、外食時に「注文しすぎない」等の消費者の意識啓発 等
- 5 【施策5】
循環型農業の推進 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
 例えば
 ・ 家畜の排せつ物を堆肥化して再利用する
 ・ 廃棄される作物や食品を飼料化する 等
- 6 【施策6】
流域一帯で取り組む海岸漂着物対策 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
 例えば
 ・ 海岸漂着物の回収や処理
 ・ 海岸漂着物の発生抑制等

施 京 都 府 の 取 組 を と て も 評 価 す る	施 京 都 府 の 取 組 を や や 評 価 す る	施 京 都 府 の 取 組 を あ ま り 評 価 し な い	施 京 都 府 の 取 組 は 全 く 評 価 し な い	施 京 都 府 の 取 組 は 全 く 評 価 し な い	施 京 都 府 の 取 組 は 全 く 評 価 し な い
---	--	--	---	---	---

次へ

0 50 100(%)

- Q7.1** 必須設定 回答必須
- Q7.2** 必須設定 回答必須

回答制御 Q7.1 ≠ Q7.2 に該当しない場合はアラートを表示
- Q7.3** 必須設定 回答必須

回答制御 Q7.1 ≠ Q7.3 かつ Q7.2 ≠ Q7.3 に該当しない場合はアラートを表示
- Q7.4** 必須設定 回答必須

回答制御 Q7.1 ≠ Q7.4 かつ Q7.2 ≠ Q7.4 かつ Q7.3 ≠ Q7.4 に該当しない場合はアラートを表示
- Q7.5** 必須設定 回答必須

回答制御 Q7.1 ≠ Q7.5 かつ Q7.2 ≠ Q7.5 かつ Q7.3 ≠ Q7.5 かつ Q7.4 ≠ Q7.5 に該当しない場合はアラートを表示
- Q7.6** 必須設定 回答必須

回答制御 Q7.1 ≠ Q7.6 かつ Q7.2 ≠ Q7.6 かつ Q7.3 ≠ Q7.6 かつ Q7.4 ≠ Q7.6 かつ Q7.5 ≠ Q7.6 に該当しない場合はアラートを表示

Q7

以下の①～⑨の具体的な取組のうち、循環型社会の実現に向けて、特に取組が進んだと感じるもの、取組が進んでいないと感じるものを、第1位から第3位としてそれぞれ1つずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

	取組が進んだもの			取組が進んでいないもの		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
①新しい技術の開発、実用化、普及促進による 廃棄物の効率的な2R(発生抑制・再利用)の推進	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○
② 最新の廃棄物処理情報の集約化機能の強化に加え、廃棄物対策のプラットフォームの構築	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○
③民泊、ライドシェアなどの個人が所有する資産やリソースを共有することで収益を得るビジネスモデル(シェアリングエコノミー)など、 2R優先の循環型社会に資するビジネスの育成支援	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○
④「もったいない」の精神や地域の活性化や雇用などを含む、 人・社会・地域・環境に配慮した消費行動(エシカル消費)の理念の普及	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○
⑤行政によるグリーン調達等の推進等により、 環境負荷の少ない物品やサービスの普及を促進	5 ○	5 ○	5 ○	5 ○	5 ○	5 ○
⑥レジ袋やペットボトル等の 使い捨てプラスチックの削減	6 ○	6 ○	6 ○	6 ○	6 ○	6 ○
⑦生産、製造、販売、消費等の各段階における関係者の相互連携による 食品ロス削減 の促進	7 ○	7 ○	7 ○	7 ○	7 ○	7 ○

⑧農業分野から排出されるプラスチック類の資源循環の促進、並びに家畜排せつ物処理施設等の整備と生産される堆肥の利用促進	8 ○	8 ○	8 ○	8 ○	8 ○	8 ○
⑨海岸漂着物等の回収・処理の実施や流域一帯となった発生抑制の取組の促進	9 ○	9 ○	9 ○	9 ○	9 ○	9 ○

次へ

0 50 100(%)

Q8	- カテゴリ 1.FA	必須設定	回答必須	0	50	100(%)
		入力文字数	100文字まで			
	- カテゴリ 2.FA	必須設定	無回答可			
		入力文字数	100文字まで			
	- カテゴリ 3.FA	必須設定	無回答可			
		入力文字数	100文字まで			
	- カテゴリ 4.FA	必須設定	回答必須			
		入力文字数	100文字まで			
	- カテゴリ 5.FA	必須設定	無回答可			
		入力文字数	100文字まで			
	- カテゴリ 6.FA	必須設定	無回答可			
		入力文字数	100文字まで			

Q8

前問でお選びいただいた具体的な取り組みについて、進んでいると感じた理由、進んでいないと感じた理由を、どのようなことでも結構ですので具体的にご記入ください。

【取り組みが進んでいると感じたもの】

1位:○○○(Q7_1回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいると感じたもの】

2位:○○○(Q7_2回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいると感じたもの】

3位:○○○(Q7_3回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいないと感じたもの】

1位:○○○(Q7_4回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいないと感じたもの】

2位:○○○(Q7_5回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいないと感じたもの】

3位:○○○(Q7_6回答テキスト再掲)

- Q9_1 必須設定 回答必須
- Q9_2 必須設定 回答必須
回答制御 Q9_1 ≠ Q9_2 に該当しない場合はアラートを表示
- Q9_3 必須設定 回答必須
回答制御 Q9_1 ≠ Q9_3 かつ Q9_2 ≠ Q9_3 に該当しない場合はアラートを表示

前問でご覧いただいた9項目の取り組みのほかに、重要だと思う施策がありましたら、どのようなことでも結構ですので具体的にご記入ください。

次へ

0 50 100(%)

Q9

以下①～⑨の具体的取組のうち、循環型社会を実現するためにあなたが特に重要だと考えるものを第1位から第3位としてそれぞれ1つずつお選びください。
(それぞれひとつずつ)

	1	2	3
	1	2	3
	位	位	位

①新しい技術の開発、実用化、普及促進による 廃棄物の効率的な2R(発生抑制・再利用)の推進	10	10	10
②最新の廃棄物処理情報の集約化機能の強化に加え、 廃棄物対策のプラットフォームの構築	20	20	20
③民泊、ライドシェアなどの個人が所有する資産やリソースを共有することで収益を得るビジネスモデル(シェアリングエコノミー)など、 2R優先の循環型社会に資するビジネスの育成支援	30	30	30
④「もったいない」の精神や地域の活性化や雇用などを含む、 人・社会・地域・環境に配慮した消費行動(エシカル消費)の理念の普及	40	40	40
⑤行政によるグリーン調達等の推進等により、 環境負荷の少ない物品やサービスの普及を促進	50	50	50
⑥レジ袋やペットボトル等の 使い捨てプラスチックの削減	60	60	60
⑦生産、製造、販売、消費等の各段階における関係者の相互連携による 食品ロス削減の促進	70	70	70
⑧農業分野から排出される プラスチック類の資源循環の促進 、並びに 家畜排せつ物処理施設等の整備と生産される堆肥の利用促進	80	80	80
⑨ 海岸漂着物等の回収・処理の実施や流域一帯となった発生抑制の取組の促進	90	90	90

- Q10 - カテゴリ 1.FA
必須設定 回答必須
入力文字数 400文字まで

Q10

※以下の資料(概要版/詳細版)は、**快適な環境を維持し、安心・安全な暮らしの実現**にむけて、京都府が取り組んでいる施策についてまとめたものです。
 こちらの資料もご参考として御覧いただき、質問にお答えください。

- Q11.1 必須設定 回答必須
- Q11.2 必須設定 回答必須
- Q11.3 必須設定 回答必須
- Q11.4 必須設定 回答必須
- Q11.5 必須設定 回答必須
- Q11.6 必須設定 回答必須
- Q11.7 必須設定 回答必須

Q11.

快適な環境を維持し、**府民の安心・安全な暮らしを支える**ため、京都府では以下の施策【1】から【7】を推進しています。
 これらの施策の取組について、あなたの考えに最も近いものを1つずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

施 策 を 知 ら な い	施 策 を 知 ら な い	施 策 を 知 ら な い	施 策 を 知 ら な い	施 策 を 知 ら な い
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

- 1 【施策1】 府民の安心・安全を支える環境モニタリングの実施
 例えは 1 〇 2 〇 3 〇 4 〇 5 〇
 ・ 大気や水質のモニタリングの実施、情報発信 等
- 2 【施策2】 環境影響評価制度の総合的な取組の展開 1 〇 2 〇 3 〇 4 〇 5 〇

例えは
 ・ 環境アセスメントの実施 等

- 3 【施策3】 環境リスクの高い有害化学物質等(ダイオキシン類、重金属等)による環境影響の防止 1 〇 2 〇 3 〇 4 〇 5 〇
 例えは
 ・ 有害化学物質等(ダイオキシン類、重金属等)の排出削減
 ・ アスベストの飛散防止 等

- 4 【施策4】 京都府の地域特性に応じた気候変動適応策の推進 1 〇 2 〇 3 〇 4 〇 5 〇
 例えは
 ・ 湯水対策
 ・ 熱中症予防、感染対策
 ・ 農作物の高温障害対策 等

- 5 【施策5】 各企業や家庭等からエネルギーを供給し災害時にも停電等を防ぐことができる分散型エネルギー供給システムの構築 1 〇 2 〇 3 〇 4 〇 5 〇
 例えは
 ・ 太陽光発電や蓄電池等を組み合わせた自家消費型システムの導入
 ・ 災害に強い地域づくり 等

- 6 【施策6】 災害時の廃棄物処理体制の強化 1 〇 2 〇 3 〇 4 〇 5 〇
 例えは
 ・ 災害廃棄物が発生時、迅速に収集・処理が実施されるよう事前の計画策定や近隣自治体等と連携・協力体制を構築する 等

- 7 【施策7】 不法投棄等の監視指導の強化等による未然防止 1 〇 2 〇 3 〇 4 〇 5 〇
 例えは
 ・ 廃棄物の不法投棄を早期に発見し、未然防止するため、不法投棄等監視指導員による監視体制の強化を行う 等

施 策 を 知 ら な い	施 策 を 知 ら な い	施 策 を 知 ら な い	施 策 を 知 ら な い	施 策 を 知 ら な い
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

次へ

0 50 100(%)

Q12.1	必須設定	回答必須
Q12.2	必須設定	回答必須
	回答制御	Q12.1 ≠ Q12.2 に該当しない場合はアラートを表示
Q12.3	必須設定	回答必須
	回答制御	Q12.1 ≠ Q12.3 かつ Q12.2 ≠ Q12.3 に該当しない場合はアラートを表示
Q12.4	必須設定	回答必須
	回答制御	Q12.1 ≠ Q12.4 かつ Q12.2 ≠ Q12.4 かつ Q12.3 ≠ Q12.4 に該当しない場合はアラートを表示
Q12.5	必須設定	回答必須
	回答制御	Q12.1 ≠ Q12.5 かつ Q12.2 ≠ Q12.5 かつ Q12.3 ≠ Q12.5 かつ Q12.4 ≠ Q12.5 に該当しない場合はアラートを表示
Q12.6	必須設定	回答必須
	回答制御	Q12.1 ≠ Q12.6 かつ Q12.2 ≠ Q12.6 かつ Q12.3 ≠ Q12.6 かつ Q12.4 ≠ Q12.6 かつ Q12.5 ≠ Q12.6 に該当しない場合はアラートを表示

Q12

以下の①～⑦の具体的な取組のうち、快適な環境を維持し、安心・安全な暮らしを支えるため、特に取組が進んだと感じるもの、取組が進んでいないと感じるものを、第1位から第3位としてそれぞれ1つつお選びください(それぞれひとつずつ)

	取り組みが進んだもの			取り組みが進んでいないもの		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
①大気や水質等の環境モニタリング結果の分かりやすい情報発信とモニタリング技術向上のための調査研究等の実施	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○
②環境に大きな影響を及ぼすおそれのある事業を実施する事業者が、その事業の実施に伴って生ずる環境への影響について事前に調査・予測・評価するとともに環境保全措置の検討を行い、住民や行政機関などの意見も踏まえた上で、事業実施の際に環境の保全への適正な配慮を行うための仕組みである環境影響評価制度の取組の展開	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○
③環境リスクの高い有害化学物質(ダイオキシン類、重金属等)の適正管理の推進	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○
④既に起こり始めている気温上昇や大雨頻度の増加等への対応など、京都府の地域特性に応じた気候変動適応策の推進や気候変動に適応するための製品・サービスを展開する適応ビジネスの育成	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○

⑤停電時にも自立的な電力供給が可能となるよう、住宅等への太陽光発電設備・蓄電池等の導入を促進し、災害に強い地域づくりの推進	5 ○	5 ○	5 ○	5 ○	5 ○	5 ○
⑥近隣府県や市町村との連携・協力等による災害時の広域的・技術的な廃棄物処理体制の強化	6 ○	6 ○	6 ○	6 ○	6 ○	6 ○
⑦廃棄物の不法投棄等の監視指導体制強化による早期発見・未然防止	7 ○	7 ○	7 ○	7 ○	7 ○	7 ○

次へ

0 50 100(%)

Q13		0	50	100(%)
- カテゴリ 1.FA	必須設定	回答必須		
	入力文字数	100文字まで		
- カテゴリ 2.FA	必須設定	無回答可		
	入力文字数	100文字まで		
- カテゴリ 3.FA	必須設定	無回答可		
	入力文字数	100文字まで		
- カテゴリ 4.FA	必須設定	回答必須		
	入力文字数	100文字まで		
- カテゴリ 5.FA	必須設定	無回答可		
	入力文字数	100文字まで		
- カテゴリ 6.FA	必須設定	無回答可		
	入力文字数	100文字まで		

Q13

前問でお選びいただいた具体的な取り組みについて、進んでいると感じた理由、進んでいないと感じた理由を、どのようなことでも結構ですので具体的にご記入ください。

【取り組みが進んでいると感じたもの】

1位:○○○(Q12_1回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいると感じたもの】

2位:○○○(Q12_2回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいると感じたもの】

3位:○○○(Q12_3回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいないと感じたもの】

1位:○○○(Q12_4回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいないと感じたもの】

2位:○○○(Q12_5回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいないと感じたもの】

3位:○○○(Q12_6回答テキスト再掲)

- Q14_1 必須設定 回答必須
- Q14_2 必須設定 回答必須
回答制限 Q14_1 ≠ Q14_2 に該当しない場合はアラートを表示
- Q14_3 必須設定 回答必須
回答制限 Q14_1 ≠ Q14_3 かつ Q14_2 ≠ Q14_3 に該当しない場合はアラートを表示

次へ

0 50 100(%)

Q14

以下の①～⑦の具体的取組のうち、快適な環境を維持し、安心・安全な暮らしを支えるためにあなたが特に重要だと考えるものを第1位から第3位としてそれぞれ1つずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

	1	2	3
	位	位	位

①大気や水質等の環境モニタリング結果の分かりやすい情報発信とモニタリング技術向上のための調査研究等の実施	10	10	10
②環境に大きな影響を及ぼすおそれのある事業を実施する事業者が、その事業の実施に伴って生ずる環境への影響について事前に調査・予測・評価するとともに環境保全措置の検討を行い、住民や行政機関などの意見も踏まえた上で、事業実施の際に環境の保全への適正な配慮を行うための仕組みである環境影響評価制度の取組の展開	20	20	20
③環境リスクの高い有害化学物質(ダイオキシン類、重金属等)の適正管理の推進	30	30	30
④既に起こり始めている気温上昇や大雨頻度の増加等への対応など、京都府の地域特性に応じた気候変動適応策の推進や気候変動に適応するための製品・サービスを展開する適応ビジネスの育成	40	40	40
⑤停電時にも自立的な電力供給が可能となるよう、住宅等への太陽光発電設備・蓄電池等の導入を促進し、災害に強い地域づくりの推進	50	50	50
⑥近隣府県や市町村との連携・協力等による災害時の広域的・技術的な廃棄物処理体制の強化	60	60	60
⑦廃棄物の不法投棄等の監視指導体制強化による早期発見・未然防止	70	70	70

- Q15 - カテゴリ 1FA
- 必須設定 回答必須
- 入力文字数 400文字まで

Q15

前問でご覧いただいた7項目の取り組みのほかに、重要だと思う施策がありましたら、どのようなことでも結構ですので具体的にご記入ください。

※以下の資料(概要版/詳細版)は、**自然と生活・文化が共存共栄する持続可能な社会**にむけて、京都府が取り組んでいる施策についてまとめたものです。
 こちらの資料もご参考として御覧いただき、質問にお答えください。

- Q16_1 必須設定 回答必須
- Q16_2 必須設定 回答必須
- Q16_3 必須設定 回答必須
- Q16_4 必須設定 回答必須
- Q16_5 必須設定 回答必須

Q16

自然と生活・文化が共存共栄する**持続可能な社会**を将来に引き継ぐため、京都府では以下の施策【1】から【5】を推進しています。

これらの施策の取組について、あなたの考えに最も近いものを1つずつお選びください。

(それぞれひとつずつ)

施 京 都 府 の 取 組 を と り お 組 み を し て く だ さ い	施 京 都 府 の 取 組 を と り お 組 み を し て く だ さ い	施 京 都 府 の 取 組 を と り お 組 み を し て く だ さ い	施 京 都 府 の 取 組 を と り お 組 み を し て く だ さ い	施 京 都 府 の 取 組 を と り お 組 み を し て く だ さ い	施 京 都 府 の 取 組 を と り お 組 み を し て く だ さ い
--	--	--	--	--	--

【施策1】

- 1 森里川海のつながりの回復による多様な生態系の保全
 例えば 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
 ・ 森里川海の原生的な生息環境の保全 等

【施策2】

- 2 人の積極的な関与による里地・里山の再生
 例えば 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
 ・ 里山林の耕作放棄地の再生
 ・ 自然体験や利活用等による里地域への人の関与 等

【施策3】

- 豊かな農林水産資源の保全・利活用
 3 例えば 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
 ・ 農山漁村体験、農家民宿、民泊等の拡大
 ・ 体験型学習や観光の促進 等

【施策4】

- 生物多様性を未来に受け継ぐための知見の集積
 4 例えば 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
 ・ 生物多様性に関する情報、知見を収集し、自然環境学習や普及啓発の推進に活用 等

【施策5】

- 外来生物による生態系等への影響に対する早期対策
 5 例えば 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○
 ・ 外来生物の侵入防除
 ・ 在来の生態系への影響抑止 等

次へ

0 50 100(%)

Q17_1	必須設定	回答必須
Q17_2	必須設定	回答必須
	回答制御	Q17_1 ≠ Q17_2 に該当しない場合はアラートを表示
Q17_3	必須設定	回答必須
	回答制御	Q17_1 ≠ Q17_3 かつ Q17_2 ≠ Q17_3 に該当しない場合はアラートを表示
Q17_4	必須設定	回答必須
	回答制御	Q17_1 ≠ Q17_4 かつ Q17_2 ≠ Q17_4 かつ Q17_3 ≠ Q17_4 に該当しない場合はアラートを表示
Q17_5	必須設定	回答必須
	回答制御	Q17_1 ≠ Q17_5 かつ Q17_2 ≠ Q17_5 かつ Q17_3 ≠ Q17_5 かつ Q17_4 ≠ Q17_5 に該当しない場合はアラートを表示
Q17_6	必須設定	回答必須
	回答制御	Q17_1 ≠ Q17_6 かつ Q17_2 ≠ Q17_6 かつ Q17_3 ≠ Q17_6 かつ Q17_4 ≠ Q17_6 かつ Q17_5 ≠ Q17_6 に該当しない場合はアラートを表示

Q17

以下の①～⑩の具体的取組のうち、自然と生活・文化が共存共栄する持続可能な社会を将来に引き継ぐため、特に取組が進んだと感じるもの、取組が進んでいないと感じるものを、第1位から第3位としてそれぞれ1つずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

	取組みが進んだもの			取組みが進んでいないもの		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
①森里川海における生物の生息・生育空間のつながりや配置の回復及び原生的な生息環境の保全等の実施	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○
②里山林や耕作放棄地の再生、自然体験・活用、野生鳥獣の個体数管理等を通じた、里地域への積極的な関与	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○
③ICT技術を活用した効率的な有害鳥獣の捕獲や生息域把握等による野生鳥獣の適切な個体数管理	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○
④府民ぐるみで、地域の特色を生かしながら里山整備や木材利用を行うなど、人と森をつなぐ取組を推進	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○
⑤農山漁村体験や農家民食、民泊等の拡大等により、体験型の学習や観光、都市と農村との交流を促進し、地域の魅力向上や活性化を推進	5 ○	5 ○	5 ○	5 ○	5 ○	5 ○
⑥木材の地産地消の推進	6 ○	6 ○	6 ○	6 ○	6 ○	6 ○

⑦閉鎖性水域の環境を保全するとともに、生物多様性・生物生産性が確保された「豊かな京都の里海」の実現	7 ○	7 ○	7 ○	7 ○	7 ○	7 ○
⑧府内の生物多様性に関する知見を基に、生物多様性の効果的な保全と利活用、自然環境学習や普及啓発を推進	8 ○	8 ○	8 ○	8 ○	8 ○	8 ○
⑨生物多様性を実感できるような環境学習の充実とともに、生物多様性保全に対する気運の醸成を図る	9 ○	9 ○	9 ○	9 ○	9 ○	9 ○
⑩積極的なモニタリングや防除により外来生物の侵入等を防ぎ、在来の生態系への影響抑止等を図る	10 ○	10 ○	10 ○	10 ○	10 ○	10 ○

次へ

0 50 100(%)

Q18		0	50	100(%)
- カテゴリ 1.FA				
必須設定	回答必須			
入力文字数	100文字まで			
- カテゴリ 2.FA				
必須設定	無回答可			
入力文字数	100文字まで			
- カテゴリ 3.FA				
必須設定	無回答可			
入力文字数	100文字まで			
- カテゴリ 4.FA				
必須設定	回答必須			
入力文字数	100文字まで			
- カテゴリ 5.FA				
必須設定	無回答可			
入力文字数	100文字まで			
- カテゴリ 6.FA				
必須設定	無回答可			
入力文字数	100文字まで			

Q18

前問でお選びいただいた具体的な取り組みについて、進んでいると感じた理由、進んでいないと感じた理由を、どのようなことでも結構ですので具体的にご記入ください。

【取り組みが進んでいると感じたもの】

1位:○○○(Q17_1回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいると感じたもの】

2位:○○○(Q17_2回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいると感じたもの】

3位:○○○(Q17_3回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいないと感じたもの】

1位:○○○(Q17_4回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいないと感じたもの】

2位:○○○(Q17_5回答テキスト再掲)

【取り組みが進んでいないと感じたもの】

3位:○○○(Q17_6回答テキスト再掲)

- Q19_1 必須設定 回答必須
- Q19_2 必須設定 回答必須
回答制御 Q19_1 ≠ Q19_2 に該当しない場合はアラートを表示
- Q19_3 必須設定 回答必須
回答制御 Q19_1 ≠ Q19_3 かつ Q19_2 ≠ Q19_3 に該当しない場合はアラートを表示

Q19

以下の①～⑩の具体的な取組のうち、自然と生活・文化が共存共栄する持続可能な社会を将来に引き継ぐためにあなたが特に重要だと考えるものを第1位から第3位としてそれぞれ1つずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

	1	2	3
	1	2	3
	位	位	位

① 森里川海における生物の生息・生育空間のつながりや配置の回復及び原生的な生息環境の保全等の実施	10	10	10
② 里山林や耕作放棄地の再生、自然体験・利活用、野生鳥獣の個体数管理等を通じた、里地域への積極的な関与	20	20	20
③ ICT技術を活用した効率的な有害鳥獣の捕獲や生息域把握等による野生鳥獣の適切な個体数管理	30	30	30
④ 府民ぐるみで、地域の特色を生かしながら里山整備や木材利用を行うなど、人と森をつなぐ取組を推進	40	40	40
⑤ 農山漁村体験や農家民食、民泊等の拡大等により、体験型の学習や観光、都市と農村との交流を促進し、地域の魅力向上や活性化を推進	50	50	50
⑥ 木材の地産地消の推進	60	60	60
⑦ 閉鎖性水域の環境を保全するとともに、生物多様性・生物生産性が確保された「豊かな京都の里海」の実現	70	70	70
⑧ 府内の生物多様性に関する知見を基に、生物多様性の効果的な保全と利活用、自然環境学習や普及啓発を推進	80	80	80
⑨ 生物多様性を実感できるような環境学習の充実とともに、生物多様性保全に対する気運の醸成を図る	90	90	90
⑩ 積極的なモニタリングや防除により外来生物の侵入等を防ぎ、在来の生態系への影響抑止等を図る	100	100	100

- Q20 -カテゴリ 1FA
必須設定 回答必須
入力文字数 400文字まで

Q20

前問でご覧いただいた10項目の取り組みのほかに、重要だと思う施策がありましたら、どのようなことでも結構ですので具体的にご記入ください。

送信

0 50 100(%)